

第42回定例会

日時 令和2年2月1日(土)
15:00~17:00 定例会
場所 自治会館にて
出席者 11名

■新入会者 1名

■議題

1 避難所運営マニュアル(案)・環境衛生班の業務ペット関連の読み合わせ

(1) 様式の対応表

本日読み合わせたマニュアル	「備えていますか?ペットの災害対策」 マニュアル
様式13-1	様式2
様式13-2	様式3
様式13-3	様式4

(2) ペット受け入れの可否の「地域ルール」の周知やマニュアルへの追記について ルール内容についての意見メモ ※今後検討する。

- ・飼い主の会に入る
- ・ワクチン接種済み
- ・ルールを守ることの同意書
- ・ルールを守れない人は同行避難ができない

(3) 白鳥公園の使い方について ※今後、具体的な方法を検討する。

2 栗平白鳥自治会 2020年防災訓練(まつり)の確認

(1) 前日22日(土)準備

- ・自治会館に、エリア毎の必要な物を運び込む。場所は未定。

(2) 当日23日(日・祝)

- ・8:30集合
- ・参加予定者9名。
- ・雨天時には、当日朝に一斉メールで連絡。メールには返信すること。
- ・同行避難訓練はしない。第1会場へも誘導する。
- ・散歩で来た犬連れの人にも声掛けをする。
- ・出展内容は、過去出展したもの。白鳥公園の倉庫と自治会館に保管されているもの。

3 マイクロチップリーダーについて

- ・メンバー持参のマイクロチップリーダーの実物を確認。
- ・メンバー2名のマイクロチップリーダーの読み取り体験の報告と感想から、マイクロチップの挿入だけでは意味がないことが分かった。挿入後の登録手続き等についての

説明周知が必要である。

4 麻生区総合防災訓練 第1回運営会議の報告

- ・1月27日(月)17:30～ 麻生区役所4F第1会議室にて開催。2名が参加。
- ・「総合防災訓練を通じた“地域のちから”の向上について」資料参照。
- ・前回の総合防災訓練参加者600名、今回は1000名を目標にしているらしい。
- ・はるひ野は、マンション単位で自治会がある。
- ・学校の校庭にペットを入れることができるか。
学校、はるひ野避難所運営会議、区役所との検討が必要。
⇒次回の運営会議で相談。
- ・衛生課も出展するので、出展内容が重ならないように調整が必要。

(1)「ペットとぼうさい」ブースでの体験(案)

- ①マイクロチップリーダー
- ②クレートトレーニング
 - ・トレーナー協力者探し
- ③防災手帳を作ろう
 - ・チェキを使って写真撮影

(2)第2回運営会議で「ペットとぼうさい」ブースについて決めたいこと

- ①体験内容～「ペットとぼうさい」ブースでの体験(案)が可能かどうか確認。
- ②展示内容～衛生課との出展内容と重ならないように調整する。
- ③ブース位置～衛生課とペットとぼうさいのブースを隣り合わせに希望する。

(3)今後の運営会議予定

第2回 2月17日(月)10:00～ 参加予定:3名

第3回 3月16日(月)10:00～ 参加予定:3名

場所 はるひ野小中学校内 はるひ野黒川地域交流センター 1F多目的ホール

(4)秋の総合防災訓練

10月31日(土)岡上小学校にて

5 ペットとぼうさいのロゴ

- ・メンバーのお兄様が引き受けて下さった。

6 「第6回 地域の防災ワークショップ ～避難所運営を考える～」報告

- ・2月1日(土)9:30～11:30 金程小学校にて開催。3名が参加。
- ・主催 金程中学校区地域教育会議
- ・協力 麻生高校、区役所危機管理担当、8町会自治会(金程・千代ヶ丘・細山・向原地域)
- ・内容
 - ①防災ミニレクチャー
講師 東京大学生産技術研究所教授・社会科学研究所特任教授 加藤孝明氏
 - ②避難所運営ゲーム「HUG」 区役所危機管理担当が説明
 - ③質疑応答 区役所危機管理担当が回答

④総括

加藤孝明氏

【感想】

- 加藤先生の講義は分かり易かった。
- 「防災は普段の暮らしの中から」というメッセージが伝わった。
「防災もまちづくり」
- 講義の図の中で、自助と共助と公助の割合が、自助>共助>公助 になっており、しかも、自助の割合が6割位を占めており、共助が3割、公助は1割位だった。
「自己完結 + 地域完結」
- 皆の力を最大限発揮できる社会づくり、得意なことを活かすことが大事。
- 冷蔵庫にあるもので料理を作る例を示しながら、災害時では、「ブリコラージュ」という考え方についての説明があった。その場にあるもので作る、間に合わせる、という考え方が大事。
- 被災現場では、詳細までキッチリと決められた枠があると、対応が上手くいかないことがある。
- HUGは、川崎市作成の「川HUG」カードを使った。7名位×8グループで実施。最初に各グループで、カードの読み手、書記、倉庫係、発表者を決めた。
- HUGでは、様々な地域の様々な立場の人が参加していたので、ドンドン発言していかないと意思が伝わらないことを実感した。
- ペット同行避難者用のスペースの確保場所もグループによって違っていた。ペットは家族なので飼い主と一緒に室内と考える人、ペットアレルギー者への配慮を考えてペットはなるべく人から離れた屋外などと考え方の違いを目の当たりにすることができた。

■次回の定例会

日時 2月23日(土) 13:00 ~ 15:00

場所 自治会館 2F 東側和室

主な議題

- 1 栗平白鳥自治会防災訓練(2/23)の振り返り
- 2 避難所運営マニュアル(案)・環境衛生班の業務ペット関連についての検討
- 3 麻生区総合防災訓練 第2回運営委員会(2/17)の報告